

令和元年度第3回松浦市まち・ひと・しごと創生協議会 会議録

日 時：令和2年1月20日（月） 15:00～16:35

場 所：松浦市役所市民ホール

〔次第1. 第2期 松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について〕

事務局 資料1、2により前回示した素案からの修正点を説明

委員長 労働力支援におけるKPIとして外国人労働者を雇用する経営体数を設定することについて、どう思われるか。

A委員 日本人と外国人を分けて設定するほうが分かりやすい。

B委員 目標として設定することはいいと思うが、5年間で10経営体増やすという目標設定が可能なかの疑問。

委員長 金融機関として市の状況を踏まえ、10経営体増やすという目標設定はどうか、感触は。

C委員 どの企業も人手不足が深刻であり、外国人の雇用が進んでいると感じる。個人的には、外国人の雇用は人手不足を補う手段であって、目標として設定するのはどうかと思う。

D委員 弊社では外国人労働者の斡旋を始めている。いずれ日本人や外国人という関係がなくなる。目標ということではなく、確認するためでいいのではないか。

E委員 経営体のとらえ方は、グループ企業など、どうとらえていいのか。

委員長 それぞれの会社を経営体としてとらえていいと考える。

E委員 農業、水産業に絞っての経営体なのか、工業系も含むものなのか。行政として外国人労働者を増やすため、目標とするのか、ただの確認のためなのか、確認のためであれば意味がない。いろいろな分野で外国人労働者は増えるものと考えますが、指標としてはどうなのか。

委員長 外国人を雇わざるを得ないような状況になることを前提に考えると総合戦略で目標を立てるということになる。目標を立てるということは行政として何らかの支援を考えなければならないことになる。外国人の雇用については、あくまで企業努力ではあるが、外国人を雇用せざるを得ないという状況になると感じておられるかお聞きしたい。

E委員 ならざるを得ないようになってくると思っている。

委員長 福祉分野からの意見をお聞きしたい。

F委員 福祉分野でも外国人労働者の雇用は進んでいる。長崎市などは外国人が入っている。松浦も介護・医療分野でもいずれ進むだろうと考えている。

- 委員長 外国人労働者の雇用は避けられないということで、K P Iとして設定するというにしたい。また、経営体でいいのか、雇用人数のK P Iとしての設定は必要ないのかということもあるが、経営体が増えれば雇用者数に反映するという整理でいいものとする。
- 事務局 資料3により総合戦略に掲げる取組とS D G sの関連を説明
- 委員長 S D G sという持続可能な開発目標として、17の目標が設定されている。松浦市が総合戦略に掲げる取り組みがS D G sの取り組みにも繋がるものであるという認識を持っていただきたく説明をした。

〔次第2. 地方創生応援税制について〕

- 事務局 資料4により説明
- 委員長 企業側にとっては寄付額の9割が控除されるため、寄付がしやすくなった。使う側にとっては、手続きが簡素化され取り組みやすくなった。企業に寄付をお願いする際には、企業が興味を持ってもらえる具体的な事業でないと寄付はもらえない。こういった事業であれば興味を持ってもらえるのではないかとのご意見があればお聞きしたい。
- G委員 「まつナビ」を核とした地域と協働での課題解決に取り組む学習として、国の補助金が採択されれば、3年間事業として、年間300万円の補助が受けられるが、4年目以降どうするかが問われる。1例として、企業版ふるさと納税を活用し、小・中・高と地域を結ぶコーディネーターを導入してはどうかと考えている。コーディネーターが、ふるさと学習や地域課題解決型の学習を行う。どういう効果があるかという、松浦への愛着が深まり、住みたいと思える、松浦の活性化につながる仕事をしたいと思う子供たちを育てる。企業側にとっては、一番問題なのは松浦から人が減ってしまうこと。松浦に人を増やす、松浦で働く人を増やすために小・中・高で学ぶ仕組みを作り出す。そのための仕掛けをふるさと納税を使って行うのもひとつの例と思う。
- 委員長 「まつナビ」などの松高支援の財源としての活用できないか。という整理でいいのか。こういった企業を想定しているのか。
- G委員 松浦出身の高卒や大卒のUターン者を積極的に採用する企業はどうか。
- 委員長 市では、松浦出身者が代表や役職を務める企業などに寄付を募ることを検討している。
- G委員 (寄付を募集する事業の) 候補のひとつとしてとらえていいのか。
- 委員長 組上にはあがると考える。他にこういったものであれば、後日でもご連絡いただきたい。当初予算の財源組み換えや補正等で対応を考えている。

- 委員長 通して、人口減少の歯止めになる取り組みがあればお聞きしたい。
- G委員 「まつナビ」の取り組みは4月に開始して実質12月くらいまで実施。「まつナビ」を始める前と終了後4月と1月にアンケートを100人に実施しているが、地域の課題を解決したり、地域を活性化する活動に興味を持っているという項目で、「すごく興味を持っている」が4、「まあまあ持っている」が3、「あまり持っていない」が2、「全然持っていない」が1という4段階の項目となっているが、4月のアンケートでは平均2.28だったのか、1月に実施したアンケートでは、2.51に上がった。松浦で(将来)暮らしたいかという質問では、2.04だったのが、2.27に上がった。地域活性化の取り組みに参画したいかという質問では1.97だったのが、2.20に上がった。「まつナビ」の効果としてとらえることができると考えている。
- 委員長 若い世代から愛着を持ってもらうための活動は、将来生きてくると考えている。
- 委員長 子育て、保育の立場からご意見があればお聞きしたい。
- H委員 子育て支援、他市より充実していると言ってもらえる。子育てしやすいという声も聞く。仕事と住む場所も必要であるが、あわせて教育も大事だと思う。東彼杵町に、新たな小学校ができ、見学に行った。その小学校に入学するために移住してきた人もおり、北海道から移住された方もいると聞いた。特色のある教育に取り組むとそういったことにも繋がる。これからは全く違った社会になっていく。自ら考えて動く人を育てる教育も必要だと考える。
- 委員長 教育の立場からご意見をお聞きしたい。
- I委員 学校教育と生涯学習とあるが、ベースとなるのは読書であり、大切だと考えている。絵本を配布し、絵本の読み聞かせから始めてベースとなる読書を根付かせる。素案の12ページに掲げる「木育の推進」とあるが、絵本の配布などをKPIとして設定してはどうか。ふるさと納税の活用も検討できるのではないかと。
- 委員長 交流人口という面でのご意見をお聞きしたい。
- J委員 民泊受け入れ家庭が、外国人の受け入れについて迷っている家庭も多かったが、講習会を受け、前向きになられている。山女魚の養殖魚をシティホテルに500匹入れた。今後、生ハムや燻製なども検討していく。
- 委員長 企業の立場として、寄付のしやすい事業などあればお聞きしたい。
- K委員 外国人労働者への生活支援などは行政にしかできない部分もある。そういったものはどうか。また、石炭、火力バッシングを受けている。松浦火力発電は、日本2位の規模である。火力発電の良さをPRしてもらえば、寄付もしやすくなるのでは。
- 委員長 木育の推進を掲げているが、木育をするためには山の整備が必要であり、山の整備が進めば水の安定供給にも繋がる。両電力も水を利用されている。
- E委員 フライアッシュがあるからいいところもある。CO2は仕方がないと思うが、フ

ライアッシュをいい方向に活用し、事業化できれば、問題となっている部分をいいことに転換することができる。CO2問題を打ち消すくらいの事業となればと思う。

L委員 企業版ふるさと納税ではソフト事業を主に考えていると思う。地上養殖など、温排水を利用して足湯など何かできないか。アジフライの聖地宣言で交流人口は増えたが、少しでも長く足止めするための策も必要。既存のもの副産物でもいい。ニッチツや中興化成などと連携して何かできないのか。

委員長 これからパブリックコメントを実施し、次回、総合戦略を策定する。

《閉会》